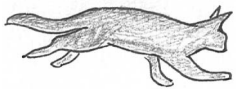

雪で高速道路が通行止めでいいの？

一般道は通行可なのに

一月十三～十四日の連休は大雪で各所の高速道路が通行止めになった。この為、高速道を走る車が一般道に降りたので大渋滞。長野から東京まで通常五時間が二五時間になった。

滑り止め規制すれば

雪が降ってもスタッドレスタイヤやチェーンの滑り止めがあれば通行できる。でも、最近その時でも、係員によるチェックは余りない。人手をかけないで、「チェーン規制」表示だけで責任逃れか？

除雪はコストが嵩む

一般国道は国土交通省が除雪。営利が第一目的の「高速道路株式会社」の立場では「何度も除雪するとコストが嵩む。雪がやむまで通行止め。なるべく除雪しない方が儲かるのだ」と云う事なのか？

速度規制には

雪で制限速度を下げたら「この車を追い越したら速度違反」という「速度指導車」を走らせればスピードの出し過ぎによる事故も防げる。

国土の重要な所を使用している道路会社。日本経済の幹線を担うのだから、営利を離れて通行を維持する為、除雪と安全確保の義務があると思う。

皆さんはどう思われますか？

雪だからこそ高速道路

高速道路は日本経済の大動脈。一般道が通れなくても通行を確保すべきだ。

カッパドキア（トルコ）

地中海と黒海に挟まれた小アジア半島の中央部にカッパドキアがある。洞窟に都市を作り、そこにキリスト教徒が住んでいた。今は観光地となり、洞窟がホテルになっている。その丘に、トルコ建国の父、ケマル・アタチュルクの肖像がが掲げられていた。

オスマントルコは十六世紀にはウィーンを攻撃するほど勢力があったが、二十世紀初頭には衰え、トルコの本拠、小アジアもギリシャ、イギリス等に分割支配されそうになった。

それを打ち破りトルコの独立を守り、トルコ共和国を建国したのが、ケマル・アタチュルクだ。彼が独立戦争を始めたのが五月十九日。ちょうど、その日にこの絵を描いた。

2010年5月制作